

英語科学習指導案（2年）

平成27年6月16日（火）第5校時（13:45～14:35）

T1 福田 守宏 T2 Tristan Reynolds

- 1 題材名 「将来の夢についての内容が含まれるスピーチをしよう」
（単元 New HORIZON 2 Unit 3 “My Future Job”）

2 考察

(1) 題材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

- ・イ 話すこと（オ）与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること
- ・エ 文法事項（イ）文構造 c(a)主語＋動詞＋to不定詞（カ）to不定詞

②主な伸ばしたい（身に付けたい）資質・能力

- ・自分の将来に対する考えを英語で伝え合う活動に積極的に取り組もうとする態度
- ・自分の将来に対する考えを含めた自己紹介文をスピーチする力
- ・to不定詞の3つの用法（名詞、形容詞、副詞としての用法）についての知識

③そのために必要な指導・学習活動

- ・複数の人の前で英語を話す言語活動
- ・自己紹介をするために必要な既習表現を継続的に復習するインプットを重視した言語活動
- ・新出表現を用いて自分の考えを正しく伝えたり、友達の考えを正しく理解したりするための言語活動
- ・自分の考えを正しく伝えるために文と文のつながりや、全体として一貫性のある文章を書く活動

(2) 生徒の実態及び指導方針（男子13名、女子18名、計31名）

①既習の学習内容や活動

- ・一般動詞やbe動詞を用いた自己紹介、他者紹介とその内容についての問答
- ・話している英語を第三者に聞かれている状況での3人組で行う会話活動
- ・既習表現を繰り返し言ったり、聞いたりする帯活動
- ・一般動詞やbe動詞を用いた自己紹介文や他者紹介文を書く活動

②実態及び方針

- ・口頭で自己紹介をする場面で、生徒は事前を書いてある内容を発表することができた。しかし、発表時の音量や視線を意識できていない生徒が見られた。
- ・3人組での会話活動では、おおむね相手に伝わる音量で会話をすることができる。しかし、5～6人の班の中やクラスの前での発表になると、音量が小さくなったり、恥ずかしさを隠すためにスムーズに英語を発話することができなくなったりしてしまう生徒がいる。
- ・既習表現を繰り返し言う活動を通して、身につけさせたい基本となる英文が音声として身に付いている生徒が多い。しかし、それを正しく書く時に語順や綴りにつまずく生徒が見られる。
- ・目標とする英文の数を伝えてから書く活動に取り組むと、その文数を満たすことができる生徒がほとんどである。しかし、内容に一貫性がなく、伝えるべき内容が定まっていないものも多く見られる。

3 題材の目標

自分の将来の夢を含めた、内容に一貫性のある自己紹介文を書き、スピーチ形式で、友達の前で適切な音量で発表することができる能力を高める。

4 指導と評価の計画（全11時間予定）

評価 規 準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	自分の将来の夢についてのスピーチを適切な音量や視線を意識して発表することができる。
	表現の能力	将来何になりたいかについて、何をするためにという目的も含めて、to不定詞を用いて話したり、書いたりすることができる。
	理解の能力	友達の将来の夢についての質問に対する答えを正しく聞き取ったり、読み取ったりすることができる。
	言語や文化についての知識・理解	to不定詞の用法（名詞、副詞、形容詞）に関する知識を身につけている。

時間	学習過程	主な伸ばしたい資質・能力		主な言語活動	コ	表	理	言	
		知識	技能等						
第1時	題材を通して学ぶ言語材料について理解する	・ to不定詞 (名詞、副詞)	・ 自分の行きたい国、そこでしたいことをto不定詞を用いて会話しようとする態度	・ 自分の行きたい国や場所について、to不定詞 (名詞、副詞) を用いて友達と対話を続ける。	○			○	
第2 ～ 6時	新出言語材料の用法や意味について理解する 教科書本文を理解する	・ to不定詞 (名詞、副詞、形容詞)	・ ペアや3人組で積極的に英語を用いて活動しようとする態度 ・ to不定詞の3つの用法の違いを理解し使い分ける力 ・ 将来何をするために何になりたいのかをto不定詞 (名詞、副詞) を用いて表現する力 ・ to不定詞の形容詞的用法について、名詞のまとまりとしてとらえる力	・ JTEとALTのモデル文を聞き、3人組で会話練習に取り組む。動詞や名詞を入れ替えながらパンプラクティスをする。 ・ 自分自身の考えをto不定詞を用いて書き、自分の将来の夢について対話をする。 ・ 基本文の形を身につけるために、英語を繰り返し言う帯活動に取り組む。 ・ 教科書本文の概要をとらえ、簡潔にまとめる。 ・ 友達の将来の夢についてインタビューし、その内容を英語で書いて表現する。			○	○	○
第7 ～ 8時	新出言語材料や既習表現を用いて表現する 新出言語材料の使い方に慣れる 友達と英文を読み合い推敲する	・ to不定詞 (名詞、副詞、形容詞) ・ 命令文を用いて助言する表現の用法	・ P24 "How can I improve my English?" について自分なりの考えを持ち表現する力 ・ 適切な既習表現を用いて自分なりの意見を書く力	・ 教科書の本文から、自分の考えや自分の今までにしたことを伝える表現を確認する。 ・ 英語をどのように上達させるかという自分なりの考えを持ち、グループで話し合う。 ・ 友達との意見交流を通して、自分の考えをさらに深め、英語で書く。 ・ 書いた英文を友達と読み合い、助言しあいながら自分の英文を推敲する。	○	○	○	○	
第9 ～ 11時	自分の将来のことも含んだ内容のスピーチを行う	・ 既習文法事項を適切に使い分ける知識 ・ 時制を適切に使い分ける力	・ 自分の考えを適切な音量、アクセント、区切りを用いて口頭で発表する力 ・ スピーチの際のジェスチャーや視線を適切に用いる力	・ 書いた英文を友達と読み合い、助言しあいながら自分の英文を推敲する。 ・ 辞書を用いて職業名や目的を表す表現を調べる。 ・ グループの中やクラス全体の前でスピーチをする。 ・ 友達のスピーチをポイントを絞って聞き取る。			○	○	○

5 本時の展開 (2 / 11)

(1) ねらい

将来の夢についての友達との対話の中で、to不定詞の名詞的用法や副詞的用法を用いて自分の考えを伝えることができる。

(2) 準備 教科書、ノート、ファイル、ワークシート、英和・和英辞典

(3) 展開

学 習 活 動 (・予想される生徒の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 帯活動を行う。 ①Bingo ②Speaking Drill</p>	<p>2分</p> <p>8分</p>	<p>○人前で英語を使うことに慣れさせるために、クラスの前で英語を話す機会を設け、日直の生徒二人が前に出て挨拶をする。</p> <p>○既習事項や復習事項に継続的に触れることで、基礎を定着させる。</p> <p>①単語の発音や綴りに繰り返し触れることで、語彙力を付ける。</p> <p>②基本文を繰り返し言う活動を通して、正しい語順を音声で定着させる。3人組で取り組むことで、「話すこと」「聞くこと」の機会を作り、会話活動に取り組む意欲を高める。</p>
<p>3 JTEとALTの対話を聞きながらto不定詞(名詞、副詞)の用法について前時の復習をする。その会話の始まりの疑問文を本時のねらいに迫る質問に替え、意味を推測させる。</p> <p>・beは「～になる」という意味かな ・do you want toは変わっていないから「～したいですか」という意味かな</p>	<p>5分</p>	<p>○前時“Where do you want to go?”の知識を元にして“What do you want to be in the future?”の意味を推測させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【Today's Goal】 自分の将来の夢について英語で表現することができる。</p> </div>
<p>4 to不定詞(名詞、形容詞)の含まれる文を用いた会話練習をする。(3人組)</p>	<p>10分</p>	<p>○自分の将来のことについて考える時に活用できるよう、使用頻度の高くなりそうな表現を入れた会話練習にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: What do you want to be in the future? B: I want to be a nurse. A: Why do you want to be a nurse? B: To help many people. A: That sounds nice.</p> </div>
<p>5 自分の将来のことについて英語で書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Q: What do you want to be in the future? A: I want to be a baseball player.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Q: Why? A: To hit home runs.</p> </div>	<p>10分</p>	<p>○会話練習していたことを参考にして、自分の将来についてto不定詞を用いて書く。</p> <p>○必要に応じて辞書を使って書かせる。</p> <p>○Why?に対する答えをすぐに書けた生徒には、他の目的についても考え書くように助言する。</p> <p>○就きたい職業について英語で書けない場合は、今日はローマ字を用いて表現するようにさせる。</p> <p>○「～するために」の部分について正しく書けているかをJTE、ALTで確認する。</p> <p>○どうしても目的が書けない生徒には、4の活動で用いた表現を参考にするように個別に助言する。</p> <p>○就きたい職業や目的について書けない生徒には、事前のアンケートに応じて支援する。</p> <p>○書きたいことをがあっても英語で書けない生徒には、別の簡単な言い方を考えさせてから英語にするように助言する。</p>

<p>6 自分の将来のことについて友達と対話をする。 (2人組)</p>	<p>10分</p>	<p>○JTEとALTのモデルを示し、使う表現の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: What do you want to be in the future? B: I want to be a nurse. A: Why do you want to be a nurse? B: To help many people. A: That sounds nice. B: How about you? A: I want to be a baseball player to hit many home runs. A: That sounds great.</p> </div> <p>○会話から聞き取った情報をワークシートにメモさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【表現の能力】 観察・ワークシート to不定詞（名詞、副詞）を用いて自分の将来のことについて、正しく話したり書いたりしている。</p> </div>
<p>〈表れてほしい生徒の意識〉 "I want to be a baseball player to hit many home runs." to不定詞の用法って同じ形をしても「～すること」「～するために」という意味の違いがあるんだな。ほかにも違う意味があるのかな。</p>		
<p>7 学習のまとめをする。</p>	<p>5分</p>	<p>○ALTが数名の生徒に話しかけ、本時の会話を振り返る。 ○友達から得た情報のメモを見て、英文で書いてくることを宿題にする。 ○今日の授業で学んだことを、ワークシートに自分の言葉でまとめさせる。</p>